

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 20 年 2 月 14 日 (2008.2.14)

【公開番号】特開 2001-214893 (P2001-214893A)
 【公開日】平成 13 年 8 月 10 日 (2001.8.10)
 【出願番号】特願 2000-386193 (P2000-386193)
 【国際特許分類】

F 0 4 D 29/38 (2006.01)

F 0 1 D 5/14 (2006.01)

【 F I 】

F 0 4 D 29/38 A

F 0 1 D 5/14

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 19 日 (2007.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】翼根元 (2 0) から翼先端 (2 2) までの横断面に沿ったスパンで、および、前縁及び後縁 (2 6 、 2 8) 間の断面翼弦で延びる正圧及び負圧側面 (1 6 、 1 8) を含み、

前記翼弦は、前記翼根元から外方よりにその長さが増大し、前記翼根元から前記エーロフォイルを平行状に膨出させ；また、

前記エーロフォイルは前記翼先端において空力的前方湾曲を、また前記先端部から内側寄りにいおて空力的後方湾曲を含み、

前記翼弦は、前記翼根元 (2 0) から翼弦長さが増大し前記エーロフォイルから外側に平行状に膨出することを特徴とするエーロフォイル。

【請求項 2】前記翼先端の前方湾曲が、前記後縁 (2 8) において形成されることを特徴とする請求項 1 に記載のエーロフォイル。

【請求項 3】前記翼先端の前方湾曲が、前記前縁 (2 6) において形成されることを特徴とする請求項 2 に記載のエーロフォイル。

【請求項 4】前記断面翼弦は前記翼根元 (2 0) 及び前記翼先端 (2 2) 間でねじり角度が変化し、前記平行が、前記側面 (1 8 、 2 0) の軸方向の突出で前記前縁及び後縁 (2 6 、 2 8) 間の最大拡大部を持つことを特徴とする請求項 3 に記載のエーロフォイル。

【請求項 5】前記平行における前記前縁 (2 6) が前記翼根元 (2 0) から軸方向前方に拡大し、前記平行の前記後縁 (2 8) が前記翼根元から軸方向後方に拡大することを特徴とする請求項 4 に記載のエーロフォイル。

【請求項 6】前記翼先端の前方湾曲が、前記前縁及び後縁 (2 6 、 2 8) の両方において形成されることを特徴とする請求項 1 に記載のエーロフォイル。

【請求項 7】前記平行の前記前縁 (2 6) が前記翼根元 (2 0) から軸方向前方に拡大し、さらに、前記平行の前記後縁 (2 8) が前記翼根元の軸方向後方に拡大することを特徴とする請求項 1 6 に記載のエーロフォイル。

【請求項 8】前記後縁 (2 8) における前記前方湾曲が、前記前縁 (2 6) における前記前方湾曲より大きいことを特徴とする請求項 6 に記載のエーロフォイル。

【請求項 9】前記後縁 (2 8) における前記前方湾曲が前記翼先端 (2 2) から前記翼

根元(22)にかけ減少することを特徴とする請求項7に記載のエーロファイル。